

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月8日
【四半期会計期間】	第27期第3四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	アーランドサービスホールディングス株式会社
【英訳名】	ARCLAND SERVICE HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 白井 健一郎
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田駿河台四丁目3番地 新お茶の水ビルディング14階
【電話番号】	03(5217)1531(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長兼経理部部长 桑原 康弘
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田駿河台四丁目3番地 新お茶の水ビルディング14階
【電話番号】	03(5217)1531(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長兼経理部部长 桑原 康弘
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第26期 第3四半期連結 累計期間	第27期 第3四半期連結 累計期間	第26期
会計期間		自2018年 1月1日 至2018年 9月30日	自2019年 1月1日 至2019年 9月30日	自2018年 1月1日 至2018年 12月31日
売上高	(百万円)	22,218	24,369	30,605
経常利益	(百万円)	3,007	3,322	4,135
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	(百万円)	1,872	1,844	2,519
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	1,937	1,958	2,604
純資産額	(百万円)	17,712	19,661	18,402
総資産額	(百万円)	24,214	26,403	25,854
1株当たり四半期(当期)純利益 金額	(円)	58.82	57.94	79.13
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額	(円)	58.52	56.31	78.26
自己資本比率	(%)	71.7	72.5	69.7

回次		第26期 第3四半期連結 会計期間	第27期 第3四半期連結 会計期間
会計期間		自2018年 7月1日 至2018年 9月30日	自2019年 7月1日 至2019年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	18.94	19.69

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは、既存事業の更なる商品力、出店力の強化、店舗におけるQSCAの維持・向上による客数拡大、人材の確保と教育の強化に取り組んでまいりました。

かつや（国内）につきましては、既存店売上高の確保と更なる売上拡大に力を注ぎ、6回のフェアメニューと3回のキャンペーンに加え、3回のスーパー・ハングリー・セールを実施した結果、1～9月の既存店売上高前年比は、直営店において99.3%、FC店におきましては99.1%と推移いたしました。また、直営店5店舗、FC店1店舗で改装を実施いたしました。

出退店につきましては、直営店4店舗・FC店11店舗の出店、直営店4店舗・FC店1店舗を閉店したことにより、当第3四半期末の店舗数は純増10店舗の399店舗となりました。

からやま・からあげ縁（国内）につきましては、新規出店による売上拡大とフェアメニューやキャンペーンを実施いたしました。

出退店につきましては、「からやま」直営店5店舗・FC店12店舗の出店、直営店2店舗の閉店、「からあげ縁」FC店2店舗の出店、FC店4店舗を閉店したことにより、当第3四半期末の店舗数は純増13店舗の99店舗となりました。

海外事業につきましては、「かつや」FC店9店舗の出店、直営店3店舗の閉店、「からやま」FC店2店舗の出店、直営店1店舗・FC店2店舗の閉店、「野菜を食べるカレーcamp」FC店1店舗の出店、「江戸前天丼はま田」直営店1店舗を出店したことにより、当第3四半期末の店舗数は純増7店舗の60店舗となりました。

その他の出退店につきましては、直営店3店舗の出店、FC店10店舗を閉店したことにより、当第3四半期末の店舗数は純減7店舗の25店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期末の総店舗数は純増23店舗の583店舗となり、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高24,369百万円（前期比9.7%増）、営業利益3,303百万円（前期比10.1%増）、経常利益3,322百万円（前期比10.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,844百万円（前期比1.5%減）となりました。

なお、当社グループは外食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態の分析

流動資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は18,747百万円となり、前連結会計年度末の18,289百万円から458百万円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金が527百万円増加したためであります。

固定資産

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は7,655百万円となり、前連結会計年度末の7,565百万円から90百万円増加いたしました。その主な要因は、のれんが51百万円減少し、建物及び構築物が69百万円、投資有価証券が119百万円増加したためであります。

流動負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は3,530百万円となり、前連結会計年度末の4,283百万円から753百万円減少いたしました。その主な要因は、買掛金が178百万円、未払法人税等が433百万円減少したためであります。

固定負債

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は3,211百万円となり、前連結会計年度末の3,168百万円から43百万円増加いたしました。その主な要因は、受入保証金が29百万円増加したためであります。

純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は19,661百万円となり、前連結会計年度末の18,402百万円から1,258百万円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,844百万円の計上がありました。配当金700百万円を支払ったためであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	98,400,000
計	98,400,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月8日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	33,096,000	33,096,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	33,096,000	33,096,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減 額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	33,096,000	-	1,932	-	1,884

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 1,261,400	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 31,829,600	318,296	-
単元未満株式	普通株式 5,000	-	-
発行済株式総数	33,096,000	-	-
総株主の議決権	-	318,296	-

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式 数（株）	他人名義 所有株式 数（株）	所有株式 数の合計 （株）	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合（％）
アーランドサービス ホールディングス株式 会社	東京都千代田区神田駿河台四丁目3 番地 新お茶の水ビルディング14階	1,261,400	-	1,261,400	3.81
計		1,261,400	-	1,261,400	3.81

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,869	16,397
売掛金	1,446	1,471
商品及び製品	339	269
原材料及び貯蔵品	95	67
その他	543	546
貸倒引当金	5	5
流動資産合計	18,289	18,747
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,935	4,004
機械及び装置(純額)	225	205
その他(純額)	99	113
有形固定資産合計	4,260	4,323
無形固定資産		
のれん	134	83
その他	28	31
無形固定資産合計	162	115
投資その他の資産		
投資有価証券	387	506
繰延税金資産	379	375
敷金及び保証金	1,350	1,336
建設協力金	742	751
長期貸付金	141	137
その他	140	108
投資その他の資産合計	3,142	3,217
固定資産合計	7,565	7,655
資産合計	25,854	26,403
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,704	1,525
未払費用	755	636
未払法人税等	824	390
賞与引当金	-	41
株主優待引当金	65	50
その他	934	885
流動負債合計	4,283	3,530
固定負債		
社債	2,010	2,010
受入保証金	760	790
資産除去債務	382	407
その他	14	3
固定負債合計	3,168	3,211
負債合計	7,452	6,742

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,932	1,932
資本剰余金	1,889	1,889
利益剰余金	14,282	15,426
自己株式	79	79
株主資本合計	18,024	19,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	5
為替換算調整勘定	0	33
その他の包括利益累計額合計	1	27
非支配株主持分	376	519
純資産合計	18,402	19,661
負債純資産合計	25,854	26,403

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	22,218	24,369
売上原価	10,583	11,567
売上総利益	11,635	12,801
販売費及び一般管理費	8,636	9,498
営業利益	2,999	3,303
営業外収益		
受取利息	6	6
リベート収入	12	12
協賛金収入	14	17
雑収入	14	18
営業外収益合計	48	54
営業外費用		
持分法による投資損失	23	23
社債発行費	12	-
為替差損	2	7
雑損失	2	2
営業外費用合計	40	34
経常利益	3,007	3,322
特別利益		
店舗譲渡益	50	18
その他	2	-
特別利益合計	52	18
特別損失		
固定資産除却損	56	15
店舗閉鎖損失	25	143
減損損失	-	26
その他	0	5
特別損失合計	82	189
税金等調整前四半期純利益	2,976	3,151
法人税、住民税及び事業税	1,073	1,161
法人税等調整額	38	1
法人税等合計	1,034	1,163
四半期純利益	1,941	1,987
非支配株主に帰属する四半期純利益	68	143
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,872	1,844

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,941	1,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	3
為替換算調整勘定	4	23
持分法適用会社に対する持分相当額	1	8
その他の包括利益合計	3	29
四半期包括利益	1,937	1,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,868	1,815
非支配株主に係る四半期包括利益	68	143

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
減価償却費	309百万円	329百万円
のれんの償却額	76百万円	52百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年3月29日 定時株主総会	普通株式	254	8.00	2017年12月31日	2018年3月30日	利益剰余金
2018年7月27日 取締役会	普通株式	318	10.00	2018年6月30日	2018年9月10日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月27日 定時株主総会	普通株式	318	10.0	2018年12月31日	2019年3月28日	利益剰余金
2019年7月30日 取締役会	普通株式	382	12.0	2019年6月30日	2019年9月10日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

当社グループにおいては、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

当社グループにおいては、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	58円82銭	57円94銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	1,872	1,844
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(百万円)	1,872	1,844
普通株式の期中平均株式数(株)	31,834,652	31,834,600
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	58円52銭	56円31銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数(株)	162,092	921,900
(うち転換社債(株))	(162,092)	(921,900)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜 在株式で、前連結会計年度末から重要な変動が あったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2019年7月30日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....382百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....12円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年9月10日

(注) 2019年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月8日

アーランドサービスホールディングス株式会社

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 萩森 正彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 飯室 進康 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアーランドサービスホールディングス株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アーランドサービスホールディングス株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。